

芦北町立田浦中学校
ホームページ
校長ブログ『秘密の部屋』
令和2年1月号



新執行部、始動！

【明けましておめでとうございます】021101

田浦チューの皆さん、昨夜は年越しの番組をネズにミテ疲れている人はいませんか？明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

3年生の皆さん、卒業まで3か月を切り、登校するのたったの46回です。皆さんの事ですから入試を控え「袋の鼠」とならないよう、今日も努力することでしょう。受験は団体戦です。仲間と声を掛け合えば大丈夫、トムに追いかけられるジェリーのような「窮鼠猫を噛む」勢いで、進路決定に向かって一心不乱に頑張ってください。

1・2年生の皆さん、文化祭の発表で見た成長ぶりには感心しました。修学旅行での笑顔には仲間とのつながりを感じました。しかし「鼠が塩をひく」と言います。3学期は次の学年のゼロ学期という意識を持って、自分や学級の課題克服に挑戦しましょう。最上級生として、チュー堅学年として更なるステップアップを期待しています。

生徒会執行部の皆さん、年末のリーダー研修では瞳が輝いていました。11月には「子どもたちによるいじめ防止推進事業」の発表が控えています。「鼠壁を忘る、壁鼠を忘れず」と言います。皆さんの力でいじめのない学校を創りましょう。誰一人として「鼠に引かれる」ことがない、ワクワクする学校を創りましょう。

私も「時に遇えば鼠も虎になる」ことのないように、みんなと一緒に大冒険、がんがんガンバります。(H)

※このブログは mouse コンピューターのパソコンで書いています。

【継続は力なり・夢】020102

日本には言霊（ことだま）という考えがあります。古代においては「言」と「事」は同じ概念と考えられていました。ですから、声に出した「言」葉は現実の「事」象に対して何らかの影響を与えると信じられており、良い「言」葉を発すると良い「事」が起こり、不吉な「言」葉を発すると凶「事」がおこるとされていました。



自分の意志をはっきりと声に出して言うことを「言挙げ」と言い、それが自分の慢心によるものであった場合には悪い結果がもたらされると信じられていました。つまり言葉は、自分がどんな心を持っているかを外に現すものと言えます。

田浦中に入ると、生徒玄関の体育館通路側にある岩坂俊一第8代校長が寄贈された「継続は力なり」の碑と、壁に掛けられた叶貞夫第15代校長が寄贈された「夢」の看板が目にとまります。2人の校長先生が生徒に向けて常に語りかけられていた言葉です。

田浦中の先生方がこの2つの言葉をあげて生徒を諭している場面をしばしば見かけます。私は「継続は力なり」の碑が建てられた時の生徒ですので、校長先生から直接思いを聞いています。今の先生方がその思いをつないでくれてとても嬉しく思います。

新年を迎えました。良い言葉で自分の意志をはっきりと声に出してみましよう。(H)

【初詣】020103

子どもが成長して家を離れると、家族が揃うのもお盆と正月くらいになってきました。28日は長男と2人で次男を迎えに行きました。帰りに男3人でスターウォーズを観るのが目的です。次男は31日の朝には仕事のため戻って行きました。いよいよ元日に全員揃うのも難しくなりそうです。

次男は、帰ってきても友達と過ごしてほぼ不在。たまにしか帰ってこないのにと、私も妻も少し不満です。そういえば、私の父も、私が田浦中に勤務するようになったと喜んだのに「近こようになったのに、いっちゃん帰ってこん。」とこぼしていたようです。倒れた後にその話を聞きました。

今年の初詣は神様からの昨年の指摘を思い出し、賽銭箱に消費税込み110円を入れ、「田浦中のかわいい3年生22名全員が高校に合格しますように。」とお祈りすると…。神様「今年もよく来たな。」「そなたの願い叶えてやろう。」

H「神様、お待ちしておりました!」「今年は消費税も入れました。」

神様「それくらい当たり前じゃ。」「だが、まだまだ修行が足りんな。」

H「えっ、金額が少ないということですか?」「まさか、かわいいのところですか!」

神様「あせるでない。」「キャッシュレス払いならポイントがついてお得じゃぞ。」

【酢味噌】020104

先月末、職員で食事をする機会がありキビナゴの刺身が出されました。醤油で食べるようになっていましたが、

S先生「これ、黄色いので食べますよね。」

皆、衝撃「黄色いの?」

K先生「そら、酢味噌やろ。」「名前ば知らんとね?」「ブロッコリーにもかけるやろ。」※カリフラワーではないかという異論がありました。

S先生の辞書には「酢味噌」という言葉がなかったようです。

畳みかけるようにベテランのK先生、U先生「花くじらは食うたこつなかつね。」※塩漬の尾羽毛（おばけ）を薄く切って熱湯をかけ、冷水でさらしたもの。「おばくじら」、白く透明な外見から「花くじら」とも言う。びらんびらんしとるやつです。

すべてのヤング「えー知らんです。」

食べ物で2チームに分かれました。時代の移り変わりを感じます。

お店の人に聞くと、好みがあるので醤油を出しているとのこと、お願いしたら酢味噌を持ってきてくれました。S先生は「これです。」という反応。「酢味噌」という単語と使い方を会得しました。

S先生は料理はほとんどしないそうですが、せっかく田浦中に勤務しているので、味噌大さじ2、酢大さじ1、砂糖大さじ1、好みで辛子を少量入れて、「ひともじのぐるぐる」にチャレンジしてみましよう。(H)

【ザオリク】020105

今日はちょっと出かけていますが、今年は喪中で年始の親戚の集まりもなく、年賀状もなく、「ふわり」はおらず、本を読んだり、書き物をしたり、ビデオをみたり、落ち着いた正月でした。時間に余裕があったので、すこ〜し長めにゲームもしました。

大学4年生の頃に教育実習で実家に帰ったところ、2番目の弟が『ドラゴンクエストⅡ 悪霊の神々』のソフトを買っていました。ゲームはするためにある。土曜の夜から日曜にかけて一晩中戦いを続けました。

自動保存がされない初期のゲームです。途中、復活の呪文を間違え、使った時間が無駄になることを繰り返しました。生徒がゲームに時間を取られてしまうのは良くわかります。今日も戦いに熱チューしている生徒もいるかと思いますが、ほどほどが大事です。

ドラクエの使えたら嬉しい呪文

寝坊した：ルーラ（過去に行ったことのある場所に瞬時に移動することができる。）

授業中に指名された：マホステ（受けた呪文を無効化する）

授業中に眠くなった：ザメハ（眠りを覚ます）

部活の試合中：スクルト（守備力を上げる）・バイシオン（攻撃力を上げる）

疲れた：ベホマズン（HPを完全回復する。）

たぶん学校がすでにかけている呪文はパルプンテ（発動するまで何が起こるかかわからない）。私が使えるようになりたいのはもちろんザオリク（HP満タンで生き返らせる）です。（H）

【熊本城かるた】020106

今日は仕事始め。三太郎駅伝大会の練習、部活動、進路事務と初日からフル回転です。

昨年末に県教育委員会より「熊本城かるた」をいただきました。2019年の熊本城復興支援キャンペーンの一環として、熊本県内の小中学生を対象に「熊本城かるた絵コンテスト」が開催されました。その入賞作品から絵札が選ばれており、芦北水俣郡市関係では久木野小学校の児童の作品が「ら」の絵札になっています。かるたの一部を「た・の・う・ら・ち・ゆ・（う）・が・っ・こ・（う）」で紹介します。（H）

「た」戦う工夫 矢狭間（やはざま） 銃眼（じゅうがん） 石落とし

「の」野面（のづら）積み 上手に積んだね 石工さん

「う」宇土櫓（うとやぐら） 築城当時の 姿を残す

「ら」ライトアップ 夜もきれいな 熊本城

「ち」茶の道を 細川三斎 広めたよ

「ゆ」由緒正しく 文武秀でた 細川家 ・ 「う」

「が」加藤清正 お城づくりの 名人だ

「つ」積み方で 時代がわかる 二様（によう）の石垣

「こ」広大だ 肥後の領地は 五十四万石 ・ 「う」

【七草粥もよかばってんカレーもね】020107

子どもの頃の正月はほとんどおせち、最後は『煮しめ』だけが残っていて記憶がありましたが、年齢を重ね、煮しめの良さが分かるようになってきました。

セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ春の七草。今日はお正月に弱った胃を休める七草粥を食べる日ですが、皆様のご家庭はいかがでしょう。

我が家はカレーです。今から40年以上前、「おせちもいいけどカレーもね」というキャンディーズのCMがありました。子どもの頃に刷り込まれたレトルトカレーのCMはインパクトがあり、今でも「そろそろカレーにするか。」と忘れてしまいます。

カレーのジャガイモは、個人で辛みを調節するために入れてあり、カレーが辛いと感じた時は、ジャガイモをつぶして混ぜ込むと良いそうです。

ところで、カレーや肉じゃがをつくる時、『男爵イモ』が良いか、『メイクイーン』が良いか、買い物に行って悩まれる方もいるのではないのでしょうか。一般には形が崩れにくい『メイクイーン』はカレー向き、煮崩れする『男爵イモ』は肉じゃが向きだそうです。

分かっているつもりでも、お店に行くと組み合わせを忘れることがあります。社会科の重要語句を記憶する時も、自分なりの関連付けをすることで忘れないようにするのですが、ここでも同じ。『肉』・『男爵』、『カレー』・『メイクイーン』と関連付けて覚えています。

最近は家族が少なくなったこと、食べ過ぎを防止することなどの理由でレトルトで済ませることが多くなりました…。(H)

【始業式】020108

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る。」とはよく言ったものです。1月もすでに7日が過ぎ、今日は始業式です。突発的な仕事に対応できるよう、冬休みは左手でこたつの中の「おはぎ」をなでなでしながら大量の原稿を書きました。「早し良し 丁度良し危うし 遅し悪し」とは言え、生まれて初めて目薬を使い切りそうです。

田浦中生のみなさん、明けましておめでとうございます。少しはゆっくり過ごすことができたでしょうか。家族や親戚の方、たくさんのお話を聞けたでしょうか。

3年生の皆さん、中学校生活最後の学期が始まりました。卒業式まで今日を入れて67日、そのうち登校日数は46日、実際は入試等でもっと少ない人もいます。

「出会いは偶然、別れは必然」という言葉があります。ほとんどの人にとって、保育園・幼稚園・小学校・中学校と一緒に過ごした仲間との、初めての別れの時が迫っています。一日一日を大切に過ごしてください。

1・2年生の皆さん。これまで学校を牽引してきた3年生が卒業します。クラス替えはありません。3学期を次の学年の『ゼロ学期』と位置づけ、次年度への準備をできる限り進めてください。余裕ある4月を迎えることができるようにしましょう。

田浦中生の皆さんには、後輩に何を残し、先輩から何を学び取るか。この一点に絞った3学期・ゼロ学期にしてほしいと願っています。(H)

【あとがこわい】020109

全国各地でインターネットを利用した児童ポルノ禁止法違反事件等の被害者となる子どもたちが後を絶ちません。「自画撮り被害」も増加傾向にあります。田浦中は「ここ2年間の生徒指導上の重大案件は、蜂を追い出そうとしてホウキでガラスを割ったこと。」だと笑い話にしているくらい安定していますが、それ以前は生徒間のトラブルに何らかの形でSNSが関わっていました。ライン等のSNSは私たちが見ることができない閉ざされた空間なので、もしかしたら情報をつかんでいないだけかも知れません。

福島県警のホームページを見ると、～スマホの約束6か条～「あとがこわい」による被害防止が訴えられています。田浦中では校舎内に掲示するとともに、終業式の生徒指導主事からの講話の中で注意喚起を行っています。「あ」は？、「と」は？の問いかけに、1学期の終業式の時はぼそぼそとした声が聞こえた程度だったのですが、2学期の終業式では多くの生徒が声に出すことができていました。知識のみに終わらないよう、徹底を図りたいと思います。

スマートフォンを利用して

「あ」会わないで！（知らない人と）

「と」撮らないで！（自分の裸を）

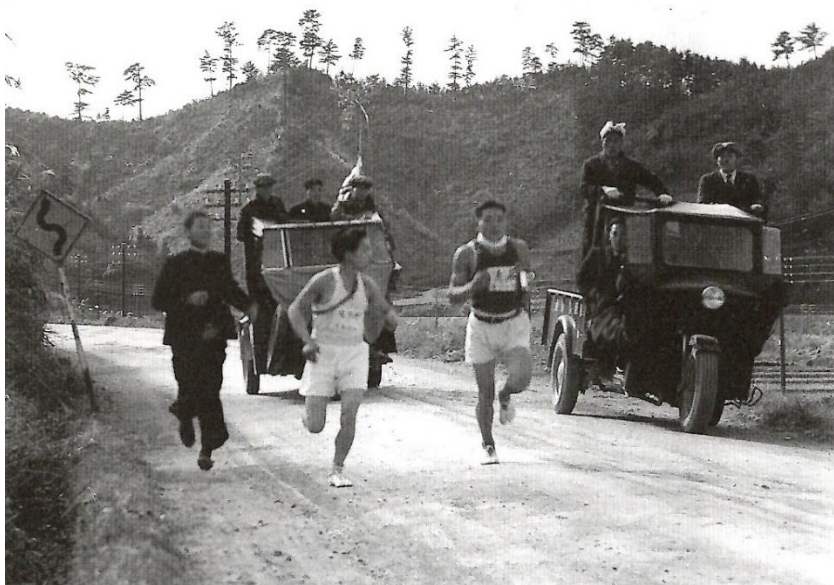
「が」画像を送らないで！

「こ」個人情報を載せないで！

「わ」悪口を書き込まないで！

「い」いじめないで！（ネットを使って）

詳しくは福島県警のHPをご覧ください。待受画像もダウンロードできます。（H）



三太郎駅伝競走大会（昭和34年）小田浦野添付近

【ワンチーム】O20110

12日(日)は熊日三太郎駅伝競走大会です。大会を前に昨年度の卒業生Nさんの作文を再掲します。選手の皆さん、補助員の皆さん、沿道で応援する田浦中生の皆さん、田浦中はワンチームです。



『私がこの2学期に一番頑張ったと思うことは駅伝練習です。私は小さい頃から運動が苦手でした。でも、2年生

の時、早朝ランニングに参加し、駅伝の練習を始めました。駅伝の練習はとてもきつく、つらかったです。何度もやめたいと思いました。でも、練習はきつい事だけではなく楽しいこともあったし、途中でやめるのは嫌でした。

今年の県大会の後Y先生に「最後までよく頑張った。」と褒められました。この時私は、やめなくてよかった、続けて良かったと思いました。私はこれから先、つらいこと、苦しいことがあってもあきらめずやり切ろうと思いました。

私が最後まで頑張れたのは、一緒に頑張ってきたメンバーがいてくれたからです。きついときは声を掛け、走っている時は応援してくれました。やめたいと思ったときに相談したこともありました。私一人だけだったらこんなに続けられなかったと思います。友達の大切さを改めて感じました。

今年の県大会でメンバーに入れないと分かっていたけど、やっぱり悔しかったです。でも、みんなと一緒に練習できたことは大切な思い出です。

今日で朝ランも終わります。約2年間、Y先生と駅伝のメンバーの人たちと一緒にした朝ランと駅伝が私の中学校生活の中で一番の思い出です。

3学期はいよいよ高校受検があります。今、3年生は志望校合格を目指して頑張っています。私は特に英語と理科が苦手なので、その2教科を中心に頑張っています。苦手を克服して受験に臨みたいです。

3年生のみなさん、卒業まで学校に来る日は、今日を入れて43日です。中学校卒業後はみんなばらばらになってしまいます。この44人で一緒にいられるのは43日です。

入試に行く人もいるので、みんなが登校するのは43日ありません。一日一日を楽しく笑顔で過ごせるように44人で一緒に過ごせる日を大切にしていきましょう。44人で中学校での思い出をもっとつくり、みんな揃って、笑顔でこの田浦中を卒業しましょう。』

【義経伝説】020111

2学期の終わり「今年も『おくのほそ道』の授業の時、奥州藤原氏についての話をしてもらえますか。」国語科H先生からの一言。本校の職員はなかなか厳しい要求をしてきます。「余裕たい。」たいていの事にはそう返事をするようにしています。

今年の3年生は義経伝説に興味がある生徒がいつになく多く、知識も豊富とのこと。負られないので、複数の本やインターネット等で情報を比較しプレゼンテーションを作りました。定説、新説、都市伝説、作家の創作、調べるとどんどん時間が過ぎます。

松尾芭蕉は忍者だった。年齢から考えると1日に歩いた距離がおかしい。行った場所も幕府に目をつけられているところが多い。どうも怪しい。何ととっても芭蕉は忍者の里『伊賀上野』出身だ。

義経は幼いころ過ごした鞍馬山で天狗に鍛えられ、凄い武士になった。

義経は生き延びて中国に渡り、騎馬民族を従えチングス＝ハンと呼ばれるようになった。鎌倉幕府に恨みを持っていたので、孫のフビライ＝ハンに日本を攻撃させたのが『元寇』だ。胡散臭いけど楽しい情報も沢山あります。でも紹介するときと興味を引くだろう…。資料を否定的に読み取る力をつけさせることも大切です。

授業の時は『諸説あります。』魔法の言葉です。(H)

【第70回熊日三太郎駅伝競走大会】020112

今日、県内で最も歴史のある駅伝大会「熊日三太郎駅伝競走大会」が開催され、水俣市文化会館と芦北町役場田浦支所を結ぶ10区間、39.7kmでタスキをつなぎました。

昨年度から町でチームを編成しての参加、中学生チームは芦北Aが6位、芦北Bが4位、芦北Cが2位という成績、田浦中選手では6区のCくんが区間賞を取りました。

芦北町の代表として出場した皆さん、部活動と重複しての練習と大会、本当にご苦労様でした。3年生で大会に協力してくれたKHさん、IHさん、KMさんありがとう。高校・一般チームの選手として出場した卒業生の皆さん、頑張りを誇りに思います。

意外に思われるかも知れませんが、体育的な才能は遺伝しない(諸説あります)そうです。ただ、体型については遺伝的要素が強いし、スポーツ好きの親は、子どもに小さい頃からスポーツ的な遊びをさせる傾向にあるので、自然とスポーツに親しむ習慣ができ、体育的な才能が遺伝したように見えるそうです。

私自身、小さな頃は親と運動をして遊んだ記憶もないし、足も遅く、運動がとにかく苦手でしたが、6年生の頃に体格に筋力が追い付いてきて、高跳びの授業でとても良い記録が出て、室村先生に褒められ、だまされました。中高ではバレーボールの試合に行くたびに、色々な学校の監督から声をかけていただき、まただまされました。

何事も嫌だと思えばとことん嫌になっていきますが、好きだと思えばとことん好きになっていくものです。きっかけは人がつくってくれることも多いのではないのでしょうか。

今は応援団の皆さんも、くまモン監督にちょっとだまされてみませんか。(H)

【布団のおぶか】020113

冬場に実家に帰ると母から重い布団を着せられる。「寒はなかけんいらん。」「おぶか、動かれん。」と言っても容赦ない。親の『煩惱』のなせる業なので、まずは素直に聞く。

ご飯（米）の量も多い。「そぎゃんな食わん。」と言っても容赦ない。これも『煩惱』のなせる業なので、まずは素直に聞く。

大雨や台風の際は「逃げんでよかっか。」電話がかかってくる。「俺はもう54歳ばい、あんたどんが逃げんば。」と言っても容赦ない。これも『煩惱』のなせる業。親にとって子はいつまでも子ども。毎回、同じ会話の繰り返し。

とは言うものの、私も成人した息子が高熱を出したりすると、ちょっと熊本市まで見舞いに行ってしまう。妻からは「もう子どもじゃなかつやっで。」と言われるが仕方ない。「親馬鹿やっでしょんなか。」「生きとるけんでくつとやっで、でくつことはせんば。」と返している。これも『煩惱』のなせる業。

中学生の時、修学旅行で松下村塾に行った。そこには『知行合一』の掛け軸があった。吉田松陰が処刑される（安政の大獄）前に詠んだ辞世の句を知り心に沁みた。

「親思う心にまさる親心 けふのおとずれ何ときくらん」

子が親を思う心よりも、親が子を思いやる気持ち（親心）のほうがはるかに強い、その息子が処刑されることを聞いて、親はどう思うだろう。

布団の重さは親の思いの重さ。分かっちゃいるけど、もう54歳です。(H)

【知行合一】020114

田浦中の『学校だより』のタイトルにもしている知行合一（ちこうごういつ）は、陽明学（孔子の生きた『春秋戦国』時代から1900年ほど後の『明』の時代に王陽明がおこした学問）の命題の一つで、簡単には「知識は行動と一致してこそ意味がある、本当の知識は実践をともなわなければならない」というような意味です。

学校の論語階段に掲示している為政第二の「子貢問君子、子曰、先行其言、而後從之」

孔子に、弁が立つ弟子の子貢が、「君子とはどんな人ですか？」と問うと、「普段からあなたが話していることを先に実行しなさい、その後から言葉が出てくる（まずすることをして、言いたいことがあればその後で言う）ような人が君子です。」と答えた。という故事がもとになっています。

王陽明は、知って行わないのは、未だ知らないことと同じであることを主張し、知っている以上は必ず行いにあらわれると説きました。この考えは、江戸時代初期の陽明学者である中江藤樹が有名で、1837年に大阪で乱を起こした大塩平八郎も私塾「洗心洞」で門弟に陽明学を教えた陽明学者でした。

吉田松陰の私塾「松下村塾」にも「知行合一」の掛け軸がありました。松陰の生涯と塾生の明治維新での活躍はご存じのとおりです。(H)

【テントウムシ小僧】 020115

今日は人権教育の田浦・湯浦ブロック別研修会が開かれ、1年担任のH先生と3年担任のS先生が授業を公開しました。

さて、私が4～5才の頃だと思いますが、テントウムシをみつけるとなぜか指でつぶしていました。虫眼鏡で光を集めてアリをねらってまわったりもしました。殻の碎ける音のために鶏に投げ込んだカタツムリも数知れません。ひどい子どもです。

ある日のこと、テレビで「テントウムシはアブラムシをたべる益虫」という番組を見ました。保育園児の頃のことなのに、「しまった。」「とても悪いことをしていた。」と思った瞬間を鮮明に覚えています。認めたくない若さ故の過ちです。

子どもは元来、残酷な面を持っているものです。しかし大抵の子どもはたくさんの大切な命を犠牲にして育ちながら、ある日突然、そうした行為の残酷さに気づくそうです。

子どもたちは大切なものを失ったり、遊びのなかでケガをしたり、嫌な思いをしたりしながら、命の大切さや、痛みを体験的に学んでいきます。大切なのは人の思いを感じとることだと思います。

今日の授業での子どもたちの表情から、何かを感じ取ってくれたように思いました。次の段階は「知行合一」です。これがまた難しい。(H)

【サポート終了】 020116

新任教師として初めて西合志南中学校にあいさつに行った日、定年退職される校長先生が、「先生たちも大変ね、これからは昔のごつはいかんでね。パソコンちゅうやつも入ってくる。自分は今年退職で良かった、しきらんとやった。」という話をされました。昭和63年(1988年)のことです。

当時、学校にパソコンは1台。印刷用紙も両脇に紙送りの穴の空いたものでした。パソコンが得意な技術のT先生が、通知表の所見をワープロで打ち、切って貼って渡したときは、ベテランのみならず少し上の先輩の先生からも「何ねこれは、手書きじゃないと愛がなか。」と言われたものでした。当時は入試の調査書も40人分×一人平均3校を手書きでしたので大変でした。今は筆記具を使って文字を書くことがほとんどなく、たまに手書きをすると腕が上がりなくなります。

14日に「Windows 7」のサポートが終わりました。学校にはこれまでワープロソフト「一太郎」で作られた文書が大量に蓄積されています。2学期に校務用パソコンも交換が済んで、「一太郎」はビューアのみ。新たな文書はすべて「Word」か「Excel」で作ることになりましたが、ベテランの先生を中心に恨み節も聞こえます。今日もどこからか「何で勝手に文字サイズのふと(大きく)なっと!」という声が聞こえてきました。

「一太郎」は文字がきれいに揃うという美しさがあったのに…。「Word」は、ぴしゃ〜っと揃いません。文字により微妙にずれます。それが許せない性格です。「どぎゃんかならんや。」と独り言を言いながらブログを書いています。(H)

【天災は忘れられたる頃来る】020117

『天災は忘れられたる頃来る』防災科学を語るときに、寺田寅彦氏（科学者で随筆家、熊本第五高等学校在学時代は夏目漱石の生徒）が、しばしば口にした言葉です。

色あせた平成7年の明日の新聞が手元にあります。1面のトップは『死者1456名』『阪神で直下型大地震』、『震度6・M7.2』、開くと横倒しになった阪神高速道路の高架の写真。被害の凄まじさが記録されています。

午前5時46分頃地震発生。出勤前に見た6時のニュースでは、「地震があったんだなあ」というレベルの理解でした。インターネットがまだまだ普及していない時代です、授業から帰ってきて職員室のテレビで被害状況を知りました。関西方面に住む親戚は無事でしたが、すぐには連絡がつかず不安でした。

数年後、修学旅行の引率で完成したばかりの「人と防災未来センター」に行きました。水俣市PTAの福島交流事業で宮城県と福島県を訪問する機会も与えていただきました。地震の被害を後世に伝える取り組みが、その後の震災に生かされています。

熊本地震の前震の時は田浦中の職員室にいました。学びは重ねていたつもりでしたが人ごとでした。「まさか」、「ありえない」ことでした。

今日はテレビでも特集が組まれています。自分事として見たいと思います。(H)

【スカイウォーカーの夜明け】020118

年末に息子2人と「スターウォーズ EP9 スカイウォーカーの夜明け」を観てきました。スターウォーズは映画館で観る（次男はEP2から）のが恒例行事でしたが、いよいよ今回のEP9で最後です。

もともと好きな映画ではありませんでしたが、知識は人並みでした。人吉二中で同勤した、高校の先輩の平川先生が大のスターウォーズファンで、その時にEP4～6の基礎知識を研修レベル？でたたき込まれ、文化祭の昼休みに2人でトークショーを行えるレベルまで上達しました。困ったものです。

EP6（1983年）から16年振りに公開されたEP1（1999年）の時はものすごい盛り上がりで、ペプシコーラがキャンペーンを行っていたので、おまけのペットボトルキャップもかなり集めました。当時はおまけの袋を触っただけで中身を当てる、他では役に立たないテクニックも身につけていました。

ライトセーバーやフィギュアもいくつか持っていましたが、子どもたちにはダース・モールのダブルブレード（両刃）のライトセーバーが人気でした。

新作映画の紹介や映画泥棒の映像が終わり、いよいよA long time ago in a galaxy far, far away…（遠い昔、遙か彼方の銀河系で）のオープニング。独特の高揚感がありました。映画の中身について語るのは無粋なのでやめておきますが、これで息子たちとの楽しみが一つ終わったなあという感想でした。帰りの車の中は評論会でした。

2022年から新たな3部作が公開されるそうです。「嫌な予感がする。」(H)

【公約実現執行部】020119

『現状維持は停滞』水俣二中で生徒会を担当するにあたり、村田校長先生から指針を示していただいたことを懐かしく思い出します。生徒会リーダー研修では私も同じ言葉を使わせていただいています。ただ、人と時間には限りがあります。生徒会活動の働き方改革も必要です。旧執行部には各委員会の再編成や活動の重なりをなくし隙間を埋めることなど、スクラップ&ビルドで生徒会活動を再構築してほしいことを伝えていました。

前執行部はK会長の公約である「いいコト流星群」(黄色い画用紙でつくった星型のカードに友達の頑張りを記入し、夜空に見立てた職員室前の廊下の濃紺の画用紙に貼っていく)と、「プロフィールブック」(全校生徒のプロフィールを書いた冊子をつくり、ソーシャルスキルトレーニングの集会に活用)の取り組みを1年間続けることができました。進捗状況確認のため、毎月活動の評価を行ったことが確実な継続につながったようです。生徒会スローガン「田浦中PRIDE」もよく練られており、生徒に定着させることができました。令和元年度K執行部は名付けるなら公約実現執行部でした。新執行部の活躍にも期待しています。(H)

【令和2年度版あいうえお作文】020120

生徒会執行部の13人は、今年も『こんな田浦中にしたい』をテーマに、名字を使ったあいうえお作文をつくりました。今後の活躍が楽しみです。(H)

会長：いつもポジティブにみんなで 乗り越えられる キラッキラに輝く田浦中

副会長：カー杯 ハイスピードで行動できる 楽観的に考える田浦中

副会長：大きな声であいさつ 思いやりの心を持つ キラッキラの笑顔田浦中

議長：真剣に 一生懸命取り組む やる気のある学校

書記：みんなが主役で 役目を持ち 斬新な発想で キラキラ輝く田浦中

書記：もりもり元気 とても優しい 無理矢理押しつけない らんらん楽しい学校生活

学級委員長：しっかり発言 らんらん元気で もっともっと上へ 友だち思いの田浦中

放送委員長：優しさであふれ 男女関係なく仲が良い田浦中

環境委員長：毎日笑顔が輝き 気持ちの良い 目標を持って行動でき

友達・先生と素敵な学校を築いていく田浦中

給食委員長：たくさん気づき行動し けじめをつけて 発表を自らでき

楽しめずチャレンジする田浦中

文化図書委員長：まずは礼儀 次に協力と笑顔を忘れずに OKになったら前に進むと…

完全に素晴らしい田浦中

保健委員長：仲間を信頼し合い 頑張りを認め合い のびのびと発言できる学校

体育委員長：生き生きとした姿 決断力がある 団結力がある田浦中

【普段が大事】020121

主な私立高校の推薦・特待等入試が明日実施されます。公立高校の前期選抜（特色選抜）までは10日余りです。担任は2学期末には調査書を書き上げ、年末に職員全員で点検を行いました。

校長決裁まで、校内の出願システムに沿って2名の先生がペアを組み、4段階の点検を行います。私と教頭先生で5段階目の点検が終わった後、職印を押します。先生方には「〇〇先生たちが点検した後だから間違いないだろう。」と決して思わず、「誰にでも間違いはあるはずだ。見逃しはあるはずだ。」という視点で点検するよう念押ししています。

担任は生徒の「悪かこと」はすぐ忘れ、「ちょっとした良かこと」に大喜びし、一生涯記憶にとどめる特技をもっています。調査書には気持ちを込めた言葉がたくさんたくさん書かれています。検定、部活動の成績、生徒会活動、余すところなく書かれています。ルーペ無しでは「文字が小さすぎて読めない！」ことが悩みです。

今月は私立高校推薦・特待等入試、公立高校前期選抜に向けて作文・面接指導のまったただ中です。なぜその高校に行きたいのか、どんなことに頑張ってきたか、どんな問いに何と答えるか、中学校3年間の生活をまとめ、十分に練習してきました。服装、ドアの開け閉め、礼儀、姿勢、言葉遣い、受け答えの仕方、一つ一つの問いにしっかり考え答えを出すこと等々、習慣化していればどうということはないものです。(H)

【啄木鳥】020122

今日は多くの私立高校で推薦・特待等の入試が行われています。昨日まで作文や面接の練習を重ね、自信を持って今日の入試に臨んだことと思います。ドアをノックして部屋に入る習慣は生徒の日常生活の中でそう多くはありません。面接練習はその場面からスタートします。

ところで皆さんはノックは何回しますか。昔読んだ本には、「日本人は農耕民族なので、畑を耕すときの『イチ、ニ』のリズムが染みついているのでほとんどの人がノックは2回する。欧米人は狩猟民族なので、弓に矢をセットし、引いて、放つ『イチ、ニ、サン』のリズムが染みついているのでほとんどの人がノックは3回する。」とまことしやかに書かれました。学級でノックをさせると、ほとんどの生徒が2回ノックをするので、その後にこの話をすると大半の生徒が「なるほど。」と信用しますが、もちろん眉唾物です。

「世界的なマナーでは、2回のノックは、トイレ用。3回のノックは、家族・友達・恋人など、親しい相手。4回以上のノックは、初めて訪れた場所や礼儀が必要な相手。」等と書かれたものもありました。これも根拠がないそうです。

私の感覚としてはドアを4回もノックされると「礼儀が必要な相手とってくれたんだね。」ではなく、「あーいた、せからしか。啄木鳥（キツツキ）か。」と言います。校長室のドアはノックをしなくてもよいように、これからも開けたままにしておきます。

(H)

【受験は団体戦】310123

今日、明日が私立高校合格者発表の第1弾です。受験日から今日まで、学級には独特の雰囲気がありました。受験生はドキドキで明日の朝を迎えることと思います。放課後に私が一人一人に結果を渡します。先輩たちに聞くと、控え室で待っているときが一番緊張したそうです。

良い結果が出たら、家族へ感謝の気持ちを伝えること。高校ですることが決まっている人は、走ったり、体を鍛えたり、勉強したり。期待に応える準備を怠らないこと。これから受験する友達を支えること。後輩を育てること。他に何ができるでしょうか。間違っても「スマホを使いこなす練習」などではないと信じています。合格内定者の過ごし方次第では、後味の悪い中学校生活最後の学期になってしまいます。入試は団体戦です。

また、明日の正午には公立高校前期選抜の願書受付が締め切られます。夕方のニュースや夕刊、明日の朝刊、熊本県教育委員会のHPには出願状況が掲載されます。(H)

【平成28年の今日】020124

「なあ〜ん、そぎゃんな降らんよ。」前日の天気予報は大雪。台風や大雨は信じるのに、大雪に関してはバイアスがかかっているようです。人吉勤務の頃、吹雪の中の帰宅で大変な思いをしています。津奈木太郎は越えられません。もしもの時の対応のために前日から田浦に泊まりました。



24日(日)の天気予報は見事の中、大岩出身の母は子どもの頃にはかまくらを作ったこともあるとのことでしたが、「こぎゃん降ったとはいつね。」と聞くと、「田浦に嫁いできた頃。」との答え。50年ぶりの大雪でした。実家に車を置き、施設管理と連絡のため歩いて学校まで行きました。

雪の中、最初は駐車場に大の字になって跡を写真に撮ったり、先生方にラインで実況報告を行ったりとまだ雪を楽しむ余裕がありました。昼頃は駐車場の雪を定規で測ると24cm!夕方には30cm!とつけみにゃー降り方でした。午後には奄美大島で115年ぶり、久米島で39年ぶり、沖縄本島の名護市では観測史上初の初雪を観測しました。

25日(月)は臨時休校。雪は降りやみましたが、タイヤチェーンをつけていない車が3号線をふさぎ、全く動くことができない状態。委員会の指示で先生たちには休みをとってもらいました。田浦にいるのは松本校長先生と私の2人。生徒には今日、私立高校一般入試の受験票を渡す予定でしたが難しく、対象の家庭に私が電話を掛け、その後、担任のN先生は列車を乗り継ぎ出勤、学年主任のS先生と2人で個別対応をしました。

また、午後には生徒玄関の水道管が破裂、水を止める栓は降り積もった雪の下。業者による応急処置をするもそれから1週間の断水。時間断水の地域もありました。

26日(火)も臨時休校。入試は無事に実施されました。大雪はやおいかんです(H)

【セブン・新マン（帰マン・ジャック）】 020125

少し前の話になりますが、1月2日、「ウルトラセブン」、「帰ってきたウルトラマン」等の特撮作品を手がけられた、シナリオライターの上原正三さんが亡くなりました。セブンと新マンから作品をいくつか紹介します。怪獣の姿が浮かんだ方は仲間です。(H)

- 17 地底 GO! GO! GO! (ユートム) …モロボシ・ダンのモデルとなった勇敢な地球人、薩摩次郎が登場します。
- 31 悪魔の住む花 (ダリー) …少女役は松坂慶子さんです。
- 45 円盤が来た (ペロリング星人) …イソップ寓話のようです。
- 46 ダン対セブンの決闘 (にせウルトラセブン・サロメ星人・アギラ) …「どっちがセブンだ？」偽物くらいすぐに気づけ。(以上、ウルトラセブン)
- 33 怪獣使いと少年 (ムルチ・メイツ星人) …道徳の授業に使ったことがあります。
- 37 ウルトラマンタ陽に死す (ナックル星人・ブラックキング他) …大人の事情とは言え、衝撃の内容。
- 38 ウルトラの星 光る時 (初代ウルトラマン・ウルトラセブン) …後編です。ラストの郷秀樹には子供心に「オイオイ」でした。
- 51 ウルトラ5つの誓い (ゼットン2代目・バット星人) …これで良いのか5つの誓い？天気の良い日は布団を干します。(以上、帰ってきたウルトラマン)

【読書】 020126

読書量の増加が田浦中の課題の一つです。田浦小の毎月の一人あたり読書数は2.1冊、田浦中は1.4冊。年間で9冊の差があります。中学生になって勉強や部活動で読書の時間がなかなかとれないと言いますが、情報機器やゲーム機器を使う時間を読書にどう振り向けるかが肝要です。

灰谷健次郎氏の『太陽の子』の中に、「本は買って読め。家は借りて住め。」という一節があります。小学6年生の頃は学校と旧役場の図書館にあった推理小説を中心に毎日3冊は読むのが習慣で、教室の後方に貼られたグラフが伸びていくのが楽しみでした。ただ、推理ドラマの犯人が早く予想できてしまうのが残念です。

中学生の頃は図書室の常連でした。当時、授業に位置付けられていた『必修クラブ』も読書クラブに入っていました。高校生の頃は日本史と世界史の教科書に登場する本は一通り読みましたが、高校3年の通知表の所見には、「すごい読書量だが、入試を前に本を読んでいる場合ではない。」文系なので、もっと英語に時間を使えというありがたいアドバイスだということは分かります。しかし、その時の貯金が今でもプラスに働いています。大学生の頃は「岩波文庫」をかなり集めていました。カビが生え、最近大量に処分しました。しくじりました。加えて今は、情報誌やネットニュース、HPもかなり読みます。

ふと気づくと、商品パッケージ裏の成分表示やテレビに次々と表示される文字も隅々まで読んでいます。間違いなく適法な中毒です。(H)

【ザケル!】020127

先日、某部活動の大会の応援に行ってきました。駐車スペースをやっと見つけたもののすでに試合が始まっており、2階席も上がれない構造だったため外から覗いて応援。第1セットを取った後のコートチェンジ間にやっとフロアに入り応援しました。1回戦は2-0で勝利、2回戦は強豪と対戦しましたが、目標の得点を2セットとも上回ることができました。大健闘でした。

しかし、試合前に大騒動が…。開会式前にある選手が「ユニフォームがない!」。選手は6人ギリギリなので予備も無い。慌てて自宅にいたお父さんに会場まで持ってきてもらい、何とか間に合ったとのことでした。保護者の許可を得て書いています。

私の次男も小学生の頃…。人吉市で開催される学年別大会の前夜に「水着は、帽子は、ゴーグルは…。」繰り返しく言うと「分かってる。」の一言。

翌朝、妻が出発前に「大丈夫ね。」と聞くと、強い口調で「大丈夫!」

40分かけて人吉のプールに到着。8時過ぎにプールが開き、練習をしようと大きなスイミングバッグを開けると…。水着がない。

バッグから出てきたのはアニメにもなった「金色のガッシュ!!」の大量のコミックス。レースの待ち時間の準備だけ完璧!

水俣まで水着を取りに往復していると間に合わない…。「金色のガッシュ!!」の第1話の台詞「ふザケルな!」がぴったりでした。さすがに口から電撃は出ませんでした。(H)

【7×7】020128

駐車場から家に近づくと黒ネコ「おはぎ」の声が聞こえてきます。ドアの内側でカギが開くのを待っています。開いたドアの隙間から50cmほど外に出て、地面に数回ゴロゴロすると家に戻ってきます。不思議なルーティーンです。その後は「ニャアニャア」と私の後をついて回ります。「ご飯をくれ。」と言っているようです。6年間で随分ネコ語が分かるようになってきました。東京オリンピック・パラリンピックでは通訳ができそうです。

カリカリを入れると「これじゃない。」という顔をします。ウェットタイプを少しだけあげます。遅れて息子が帰って来ると、「まだご飯をもらっていない。」という顔をしてニャアニャアついて回ります。ご飯のパッケージが2つ開いていることがあります。騙しのテクニックでニャカデミー賞の主演にゃん優賞を狙っているようです。

ところで、ネコ科のトラやライオンは「ガオー」となき、ネコと骨格が似ている犬は「ワン」となくのに、家ネコはなぜ「ニャア」となくのでしょうか。

一説によると、人が赤ちゃんを可愛がっているのを見て、赤ちゃんの泣き声に似せたのだそうです。「お腹がすいた。」とか、「撫でてくれ。」とか、どうやったら要求が通るのかを考えた末、「何でも言うことを聞いてもらっている赤ちゃん真似をしよう!」と考えたのだそうです。どのネコがそう証言したのでしょうか?あくまでも仮説の一つです。

今日は「ふわり」の四十九日、明るいうちに帰宅してお参りに行きます。(H)

【全国いじめ問題子供サミット1】020129

25日(土)、文部科学省で「全国いじめ問題子供サミット」が開かれ、生徒会前会長のKさんと、現会長のIさんが参加し、ポスターセッションとグループ協議で「私たちが考える『令和の時代のいじめ対策』」について考えました。サミットに参加しての、2人のメモを紹介します。(H)

「本サミットを通して学んだことは何ですか。」

○個性を認め、人それぞれの価値観や考え方が違うということを全ての人が理解しなければいけない。「いじめの定義」で共通認識を持つことが大切である。

○クラスや学年内で素を出せる、自分らしくいられる(嫌なことは嫌とはっきり言える)環境や雰囲気づくりが大事。

○傍観者が被害者と加害者の架け橋になる。

○いじめにつながりそうな些細な「いじり」や「悪ふざけ」を周りの人が注意する。

○傍観者の数が圧倒的に多いから、傍観者が変わればいじめをなくしたり、未然に防ぐことができる。

○いじめに対する考え方や感じ方は様々。

○自分の気持ちを伝えることが大切。

【全国いじめ問題子供サミット2】020130

「自分の学校、地域に帰って、どのように生かしていきますか。」

○相手の良いことを貼って、一つの物をつくる。イイコト流星群をもっと発展させる。

○何気ない日常会話の重要性

○クラス、学校の枠に囚われず、他校との関わりを増やして情報を交換する。

○いじめを自分事として捉える。

「他の参加者の発表を聞いて参考になったことは何ですか。」

○今日のグッジョブ!

○傍観者が行動する

○劇などを通して具体例を示す。

○団結しすぎず、集団意識に囚われないこと。

○クラスの中での他人をつくらない。

○相手の立場に立って考える想像力をつける。

文部科学省の講堂での発表、全国から147名の児童生徒の参加、130名近くの引率者、文科省関係者や報道機関も入り、最後は文部科学大臣のあいさつと大舞台にさすがに緊張の面持ちでしたが、グループ協議では自分の意見を言うことができたとのこと。学びの多いサミットでした。「子どもたちによるいじめ防止推進事業」の取組にどんな形で反映させるか、執行部の取組が楽しみです。(H)

【ポケモン言えるかな】O20131

来週の3日(月)は公立高校の前期選抜が実施されます。今日の事前指導も緊張感がありました。受験票の保管場所は神棚や仏壇が定番のようです。受験生の皆様は、合格に向けて八百万の神々様、仏様、ご先祖様を総動員。「おらに元気を分けてくれ〜！」状態のことと思います。

熊日新聞に、「時間配分に気を付け、自分に勝つつもりで頑張る。支えてくれた家族の気持ちに応えたい。」本校卒業生Oさんの今年のセンター試験開始前の会場でのコメントが載っていました。皆さんも入試に臨むにあたり心に携えてほしい言葉です。

以前、「受験票を制服のポケットに入れて大事に保管していたものの、違反服だったため、当日は弟の制服を借りていき、ポケットに受験票がなくて大慌てした。」という生徒がいました。「集合場所を高校の正門としていたのに、中学校の正門で待っていた。」という失敗もありました。「学校に上履きを忘れたため、自宅のもふもふした動物スリッパで行った。」という強者もありました。何が起こるか分かりません。確認、再確認、再々確認。念には念を。

ずっと前に教えた生徒に「昨日は勉強したか？」と聞くと、彼は自信を持って「はい、頑張りました！ポケモンを151匹覚えました！」、「ピカチュウ、カイリユウ、ヤドラン、ピジョン、コダック、コラッタ、ズバット、ギャロップ…♪」と歌い始めました。どうやら何をどうすれば良いかわからなくなってしまったようです。よくあることです。付き合うために私も覚えました。たまにはぼーっとすることも大事です。(H)